

風格ある県都を目指すまちづくり構想

～福島市中心市街地における将来ビジョン及び
公共施設の戦略的再編整備に関する方向性～

平成30年12月25日

福島市

本構想は、中心市街地における将来ビジョンや公共施設の再編整備に関するランドデザインとして、基本的な方向性を示すものです。高次の都市機能の配置や個別の施設毎の基本構想、計画、設計などの検討については、市議会でのご議論や市民の皆様のご意見をいただきながら進めます。

1 中心市街地におけるまちづくりの基本的な考え方

人口減少や中心市街地の空洞化など、地方を取り巻く厳しい環境下において、本市は未だ復興道半ばですが、一方で、東北中央自動車道の開通や、2年後に開催を控える東京2020オリンピック・パラリンピックなど、新しいステージへ飛躍する絶好のチャンスが訪れています。

本市が将来的にも持続的な発展をしていくためには、中心市街地を県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点とし、県北全体さらには県下全体に貢献できる風格ある県都を目指すまちづくりを進めていく必要があります。そのため、交流・集客拠点の整備や多様な都市機能の集積・強化に向けて、公共施設の戦略的な再編整備を行うとともに、民間との連携を図りながら以下の5つの基本方針に基づきまちづくりを推進します。

(1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します

交通の要衝として首都圏などからのアクセスが良く、観光資源などに恵まれた本市の強みを生かして、県都及び福島圏域の拠点地区にふさわしい、圏域内の他地域とは差別化される高次の都市機能（商業・業務・コンベンション・医療・教育・文化・交流などの機能）の集積・強化を図ります。

(2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します

高次の都市機能の集積に加えて、花や音楽など本市の個性を生かした文化的で美しい街並みを形成するとともに、広域的な集客も狙いとした多様なイベントや商業施設間の連携などソフト面の充実を図り、魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します。

また、花見山や信夫山、荒川などの自然、福島城下の歴史的遺産などの文化資産、古関裕而記念館や福島競馬場など本市の観光資源を活用し、街なか観光を推進します。

(3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します

中心部における東西のシンボル軸を形成するとともに、シンボル軸から派生する南北の各ストリートなどをイベントストリートとしても利用できるような賑わいのある魅力的な道路や歩行空間などを整備し、回遊性の強化を図ります。

(4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します

安全・安心で快適にすごせるバリアフリーな環境づくりに努めるとともに、生活に必要な都市機能を確保し、街なか居住を推進します。

また、高齢者などに配慮し、街なかでの移動や街なかと郊外部間の公共交通手段の充実に努めるとともに、必要な駐車場は確保しつつ、パーク&バスライドによる移動を模索します。

(5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します

民・産・学などとの連携により、暮らし・働き・学ぶ人々が、ともに自らのまちについて考え、それぞれの役割を担うオールふくしまによるまちづくりを推進します。

2 都市機能などの強化に重点的に取り組むエリア

今後のまちづくりにおいては、公共投資の効率化や重点化が必要となります。広域利用向けの都市機能が集積している「福島駅前周辺エリア」と、多くの行政機能・市民利用向けの機能が集積している「市役所周辺エリア」を重点的に機能強化すべきエリアと位置づけ、公共施設も含めた交流・集客拠点の整備や多様な都市機能の集積・強化に向けて、民間との連携を図りながら、まちづくりを推進していきます。

(1) 福島駅前周辺エリア

福島駅前周辺エリアでは、市民生活向上と文化の発展はもとより、県北全体の定住化、活性化の拠点形成を目指し、市街地再開発事業手法を活用した土地の高度利用や、高次の都市機能の集積・強化を図ります。

とりわけ、市外・県外から多くの人を呼び込み、多様な交流の創出を図るとともに、交流人口拡大による賑わいの創出や復興の推進を図るため、コンベンション機能と回遊性の強化を図ります。

①官民連携によるコンベンション機能の強化

コンベンション機能の強化にあたり、すべての機能を行政側で整備することは困難であることから、官民の連携・役割分担による施設整備を目指します。

市は、公会堂の機能及び市民会館の機能（施設近隣利用者向けの会議室機能などを除く）の統合化により、コンベンション機能を強化し、新たな交流・集客拠点として、福島駅東口地区市街地再開発事業（仮称）と連携し、再開発予定地内でのコンベンションホールなどの整備を目指します。

整備に向けては、市民の文化芸術活動での活用も念頭においた適切な機能・規模などの調査検討をすみやかに行うとともに、再開発事業者と協議・調整を行い、

早期の完成を目指します。

また、会議室機能の一部やバンケット機能、宿泊機能などについては、福島駅東口地区市街地再開発事業（仮称）などにおいて民間活力による整備を期待します。

②シンボル軸及び回遊性の強化

福島駅前周辺エリアの東西のシンボル軸、南北の各ストリートなどにおいて、花や音楽など、本市の個性を生かしながら、文化的で美しい街並みや歩行空間を形成し、回遊性の強化を図ります。その際、各ストリートなどの特色に合わせた個性的な街並み景観の形成や店舗などの集積を図るとともに、安全で快適に過ごせるバリアフリーな環境づくりを進めます。

また、多様なイベントが開催される賑わいの拠点として新まちなか広場を整備し、旧東口行政サービスコーナーは休憩スペース・市民活動拠点となるまちなか交流スペースとしてリニューアルします。

さらに、福島駅東口・西口付近においては、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、シティドレッシングやふくしまの顔づくりを実施し、賑わいを創出していきます。

（２）市役所周辺エリア

市役所周辺は、行政機関や裁判所などの関係機関が集積するほか、多くの市民利用機能が集積するエリアとして定着しています。さらなる市民サービス向上に向け、公共施設のバリアフリー化や交通アクセスの改善を図るとともに、市民利用機能・防災機能の集積・強化を図ります。

①統合・複合化による市役所本庁舎西棟の整備

復興は未だ道半ばですが、復興事業が着実に進んでいる状況を踏まえ、公共施設の質と量の最適化や防災機能の強化を図る観点から、市役所本庁舎西棟に整備を予定している市民交流機能と市民会館の機能（施設近隣利用者向けの会議室機能など）、敬老センターの機能及び中央学習センターの機能との統合・複合化について検討します。今後は、新しい西棟として調査検討を進め、早期の完成を目指します。

なお、原子力災害による放射能の影響を踏まえ屋内遊び場として設置した市民会館内のさんどパークについては、年間約5万人もの利用をいただいていることから、今後のあり方を検討します。

②消防本部・福島消防署

耐震性が十分ではない現在の施設の状況や、昨今の災害発生状況などを踏まえ、再整備にあたっては、単独設置を基本に他署所の配置や県北・相馬地域を含めた広域連携・協力体制の強化など今後の消防業務のあり方を考慮し、消防力を効果的に発揮できるよう、公共施設の再編整備に伴い生じる跡地や民地を含めすみやかに検討します。

3 その他の施設

(1) 図書館本館

近年、図書館には単なる図書の閲覧や貸出だけでなく、賑わい交流の場や子どもから高齢者まで生涯の学びを支える場など、様々な役割や機能が求められており、全国的にも様々な取組事例があります。図書館分館や学習センター図書室を含めた図書館全体の基本的な方向性やコンセプトについての検討に着手します。市民の安全・安心の確保に加え、他施設との複合化の可能性を考えた場合、他施設の整備スケジュールとの調整を図る必要があることから、福島駅前周辺又は現在地周辺などの設置場所も含めた新しい図書館の基本的な方向性やコンセプトをできるだけ早期につくりあげます。

(2) 中心市街地の他の公共施設など

①中心市街地の他の公共施設

建物の老朽化の状況などから、長期的な維持が期待される施設や、文化財・歴史的建造物などの保持が求められる施設については、予防保全や長寿命化に取り組みながらさらなる有効活用を図り、適宜、再整備を検討します。

②福島駅新東西自由通路

福島駅周辺の回遊性や駅東西の機能連携の強化、災害発生時の避難経路確保などの視点から、民間事業者との連携や整備コストなどの課題を踏まえ、中長期的に調査研究を続けます。

③サッカースタジアム

サッカースタジアムの整備については、多くの検討課題があることから、引き続きホームタウンの機運醸成の取組を強化するとともに、関係者などと整備のあり方について中長期的に調査研究を行いつつ、J3基準（ライセンス）の確保などについて検討を進めます。

4 構想の実現に向けて

本構想は、本市が風格ある県都を目指すまちづくりを進める上での基本的な方向性を示すものであり、それを実現するための個々の取組はいずれも今後のまちづくりに大きな影響を及ぼす極めて重要なプロジェクトです。

本構想の実現に向けては、あらゆる工夫を講じるとともに、市議会はもとより市民の皆様のご理解とご協力をいただきながらスピード感を持って、オールふくしまの力を結集して取り組みます。

(1) 施設整備の検討の進め方

中心市街地のまちづくりを進める上で、特にコンベンションホールや市役所本庁舎西棟、図書館本館、消防本部・福島消防署などの公共施設整備については、一般的には施設構想の検討から竣工までに、短くても5～6年程度の事業期間が想定されます。

そのため、各施設のコンセプトや具体的な規模・機能、運営のあり方などについて、市議会における議論や、施設毎に市民参加による検討委員会を設置するなど、幅広く市民の皆様のご意見をいただきながら、スピード感を持って検討を進めます。

(2) 公共施設の最適化と財源の確保

施設整備にあたっては、福島市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、真に必要な機能の選択や統合・複合化を進めるなど、持続可能な量と質への転換により、最適化を図ります。

また、実現に多額の費用を要する大規模なプロジェクトであるため、国・県支出金や市債の有効活用はもとより、再編整備に伴う跡地の売却収入なども含めた最大限の財源確保や本市の財政状況を踏まえた歳出の平準化に努めます。

(3) 民・産・学との連携によるまちづくり

本構想に基づく取組を進めるにあたっては、国や県との連携はもとより、民・産・学などとの連携を十分に図ります。

また、民間による取組や協力は重要であり、ハード整備事業だけでなく、賑わいの創出や観光都市としての魅力を高めていくソフト事業の実施についても期待します。

市としても、中心部のまちづくり関係者や幅広い市民の参加による「まちづくり懇談会」を開催し、本構想の周知を図るとともに、民間の積極的な取組を促します。

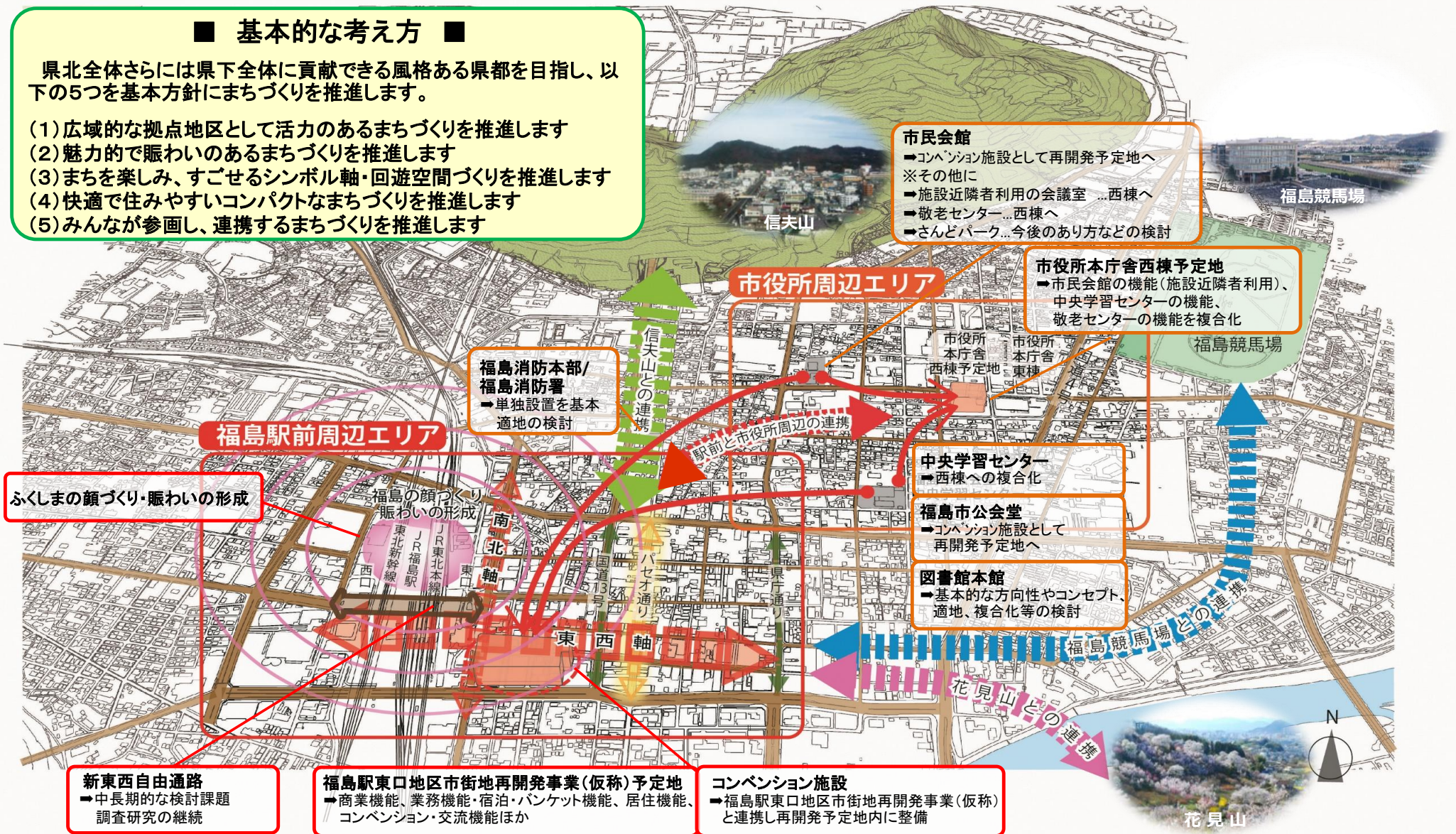
風格ある県都を目指すまちづくり構想

～福島市中心市街地における将来ビジョン及び公共施設の戦略的再編整備に関する方向性～

■ 基本的な考え方 ■

県北全体さらには県下全体に貢献できる風格ある県都を目指し、以下の5つを基本方針にまちづくりを推進します。

- (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します
- (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します
- (3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します
- (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します
- (5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します



市民会館
 →コンベンション施設として再開発予定地へ
 ※その他に
 →施設近隣者利用の会議室...西棟へ
 →敬老センター...西棟へ
 →さんどパーク...今後のあり方などの検討

市役所本庁舎西棟予定地
 →市民会館の機能(施設近隣者利用)、中央学習センターの機能、敬老センターの機能を複合化

福島消防本部/福島消防署
 →単独設置を基本
 適地の検討

中央学習センター
 →西棟への複合化

福島市公会堂
 →コンベンション施設として
 再開発予定地へ

図書館本館
 →基本的な方向性やコンセプト、
 適地、複合化等の検討

ふくしまの顔づくり・賑わいの形成

福島駅前周辺エリア

市役所周辺エリア

新東西自由通路
 →中長期的な検討課題
 調査研究の継続

福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)予定地
 →商業機能、業務機能・宿泊・バンケット機能、居住機能、
 コンベンション・交流機能ほか

コンベンション施設
 →福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)
 と連携し再開発予定地内に整備

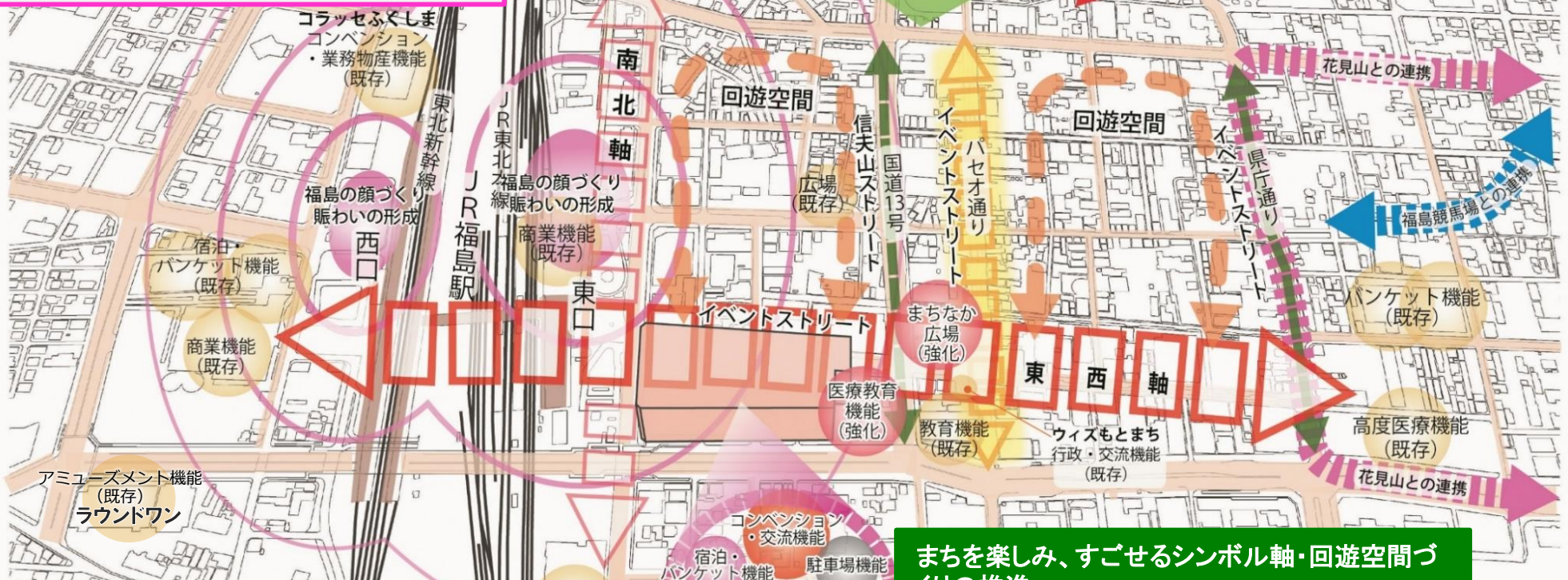
福島駅前周辺エリア

広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりの推進

- 県都及び福島圏域の拠点地区にふさわしい高次の都市機能の集積・強化を図ります
- ◇ 公会堂と市民会館の機能の複合化により、福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)と連携し、再開発予定地内でのコンベンションホールなどの整備を目指します

快適で住みやすいコンパクトなまちづくりの推進

- 安全安心で快適にすごせるバリアフリーな環境づくりに努めます
- 生活に必要な都市機能を確保し、街なか居住を推進します
- 高齢者などに配慮し、街なかでの移動や街なかと郊外部間の公共交通手段の充実に努めます
- 必要な駐車場は確保しつつ、パーク&バスライドによる移動を模索します



魅力的で賑わいのあるまちづくりの推進

- 花や音楽など本市の個性を生かした文化的で美しい街並みの形成を図ります
- 多様なイベントの充実を図ります
- 商業施設間の連携などソフト面の充実を図ります
- 花見山や信夫山などの自然、福島城下の歴史的遺産などの文化資産、福島競馬場などを活用した街なか観光を推進します

まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりの推進

- 東西のシンボル軸を形成し、イベントストリートとしても活用できる魅力的な道路や歩行空間などを整備します
- ◇ 花や音楽など、本市の個性を生かして文化的で美しい街並みや歩行空間の形成
- ◇ 安全快適にすごせるバリアフリーな環境づくり
- ◇ 賑わい拠点として新まちなか広場を整備
- ◇ 東京オリンピック・パラリンピック大会の開催も念頭においたシティドレッシングやふくしまの顔づくりの実施

市役所周辺エリア

消防本部・福島消防署の再整備

- 消防力を効果的に発揮できる新たな場所へ配置検討します
- 単独設置を基本に再整備します

新しい市役所本庁舎西棟の整備

- 市民会館・敬老センター及び中央学習センターの各機能との統合・複合化を検討します

